

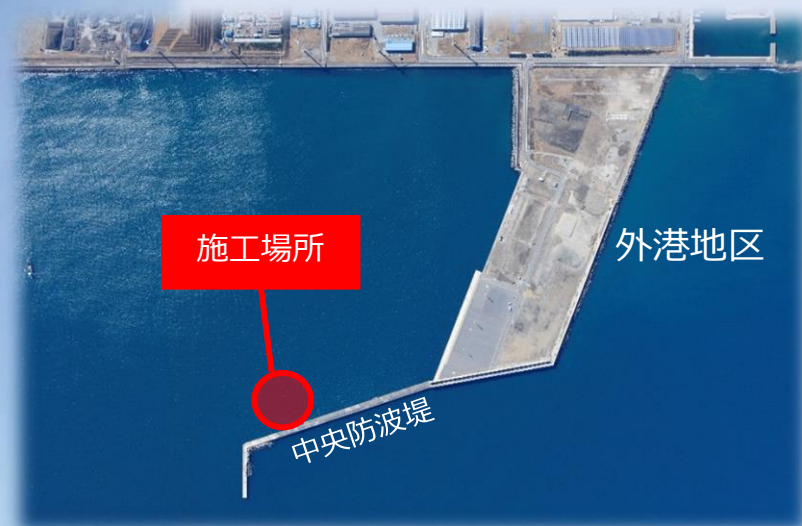
現場最前線！

～第1回～

「うねりを抑えて静穏な海に！」

茨城県

鹿島港



平成29年度

鹿島港外港地区中央防波堤付属施設築造工事

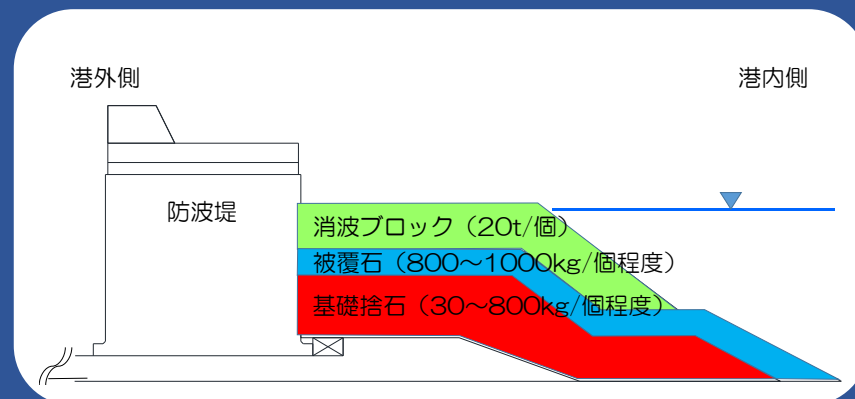
今回の工事の内容を教えてください。

防波堤の港内側に波を消すブロック（消波ブロック）等を設置する工事です。消波ブロックを設置することで、港内の波が抑えられ、船舶の運航や荷物の積み降ろしが容易になります。

工事は、右図のように三層に分けて行います。一番下の赤色は「基礎捨石（きそすていし）」と言い、文字通り構造物の基礎となる部分で1個当たりの重さが30kg～800kg程度あるものです。真ん中の青色は「被覆石（ひふくいし）」と言い、1個当たりの重さが800kg～1000kg程度あるものです。先に置いた基礎捨石が波で壊れたりしないように保護するために覆いかぶせる石です。最後に、海面から少しだけ見えるところまで、消波ブロックを置きます。



今回の工事では、639個の消波ブロックを使用しました。
・重さ：1個あたり約20t
・高さ：約3m



石材はどうやって運んできたのでしょうか。

主に福島県の小名浜港から、約100kmの道のりを5時間かけて、「ガット船」という船で運んできました。

「ガット船」には、クレーンと船体の真ん中にハッチと呼ばれる石を積み込める深い箱があります。クレーンは、一回で、約10t分の石材をつかむことができます。



一度に石を約2,500t
運べるガット船。



クレーンを使って、
石を海に投入します！

🚢 ガット船以外には、どんな船を使いますか。

「潜水士船」という潜水士さんの作業に必要な船を使います。潜水士さんは、船についた巻き上げ機につながつたワイヤーを利用しながら、海中の石を動かし、きれいに並べていきます。

他には、消波ブロックを吊り上げることができるクレーンが付いた「起重機船」を使います。起重機船上は平らになっており、一度に最大38個の消波ブロックを積み込みました。



潜水士船から、潜水士さんに空気が送られます。



水深10mよりも深いところでの作業もあります。

🚢 工事の中で工夫したことはありますか。

ヘルメットにそれぞれ作業員さんが持っている資格を表示しました。また、潜水士さんには、磁気でサメを寄せ付けないサメバンドを着用してもらいました。

さらに、女性社員を現場に呼んで女性目線で現場環境を見てもらったり、明るい現場を目指して、「明るい現場でゼロ災害！ルールを守り、活気のある現場を目指そう！」というスローガンの横断幕を設置したりしました。



大きな消波ブロックも吊り上げる起重機船。



起重機船上に並ぶ消波ブロック。

🚢 工事の中で大変だったことは何でしょうか。

「うねり」です。一見して波がないと思って、いざ船で近づいてみると船が動揺して仕事ができないことがあります。海象予測を見ながら、工程を組み立てていくのは難しかったです。



サメバンド

磁気でサメを寄せ付けません！



女性目線でのチェック！
現場環境の改善に取り組みました。

鹿島港の良いところなど感じたことがあれば教えてください。

風車が素敵だと思います。近くの海水浴場のところでドラマの撮影をしていました。砂浜も良いですね。子供を連れてきて砂浜で遊びました。

最後に、この工事を通してやりがいを感じたところなどを教えてください。

職人さんたちとの日々のコミュニケーションは楽しく、また、勉強になりました。大人になると、褒められることが少ないので、職人さんや一緒に仕事をしている人たちから「よくやったね」って一言をもらえるだけで、それがやりがいになります。

今回の工事では、石を海の中に投入していくため、やったことがなかなか目に見えなかったのですが、消波ブロックが海面の方に見えてくると、しっかりモノが作られていると感じました。今回の工事により、鹿島港での貿易に役立つ仕事が出来たなという達成感を感じました。

今回お話を伺ったのは…

株式会社 小島組
現場代理人 安田 純さん



【～あとがき～】

第1回となる今回は、「平成29年度 鹿島港外港地区中央防波堤付属施設築造工事」について、株式会社小島組の現場代理人 安田さんから話を伺いました。質問に対して、一つ一つ丁寧に回答してくださり、楽しみながらインタビューすることが出来ました。今回のインタビューで一番驚いたのは、海中での作業に潜水士さんの存在が欠かせないということです。また、インタビューの中で「貿易に役立つ仕事が出来た」と答えてくれましたが、それを聞いて「この工事は、今後の私たちの生活にも影響してくる工事だったのだ」と改めて思いました。



鹿島港湾・空港整備事務所
期間業務職員 藤枝・内野